

# 暮らしに希望をとりもどす区政へ

## 消費税は 5% へ

## 改憲 STOP!

消費税 10%増税を強行した安倍政権。党区議団は、区民の暮らしと福祉を最優先にした区政への転換を求め、「2020年度・文京区予算編成に関する要望書」を区長に提出しました。

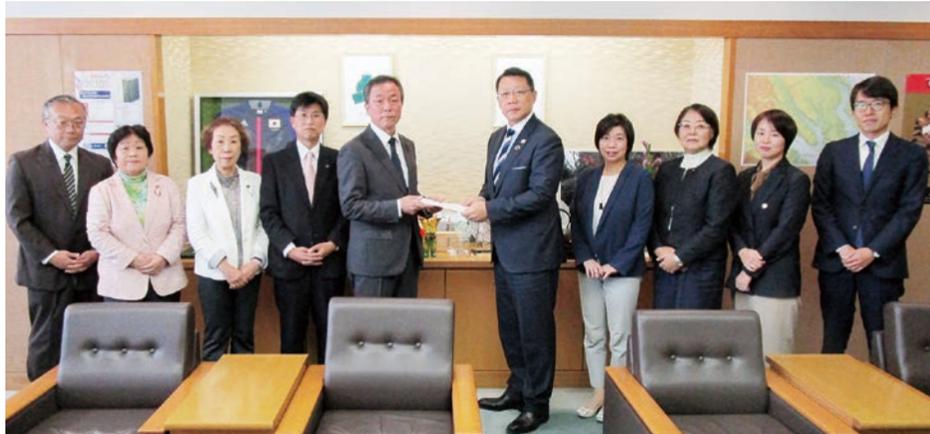
## 子どもの国保料 1人年間 5万2200円 全額免除を

### 共産党・みらい 共同提案

日本共産党は、文京みらいと共同で、国保の子どもの均等割を廃止する条例提案を行いました。

国保が他の保険より高いのは、世帯人数に応じて保険料が1人あたり5万2200円も増える均等割という制度があるためです。文京区の場合、子どもの均等割をなくすのに1億2000万円があれば実現できます。質疑された厚生委員会では、財源がかかる、国保以外の人の負担が増える等の理由で、自民、公明、市民、創が反対して否決されました。

しかし、依然として保険料が高いという声が渦まいています。値下げのために引き続き頑張ります。



区長に予算要望書をわたす日本共産党文京区議団

左から、長島文京地区委員長、関川けさ子、いたくら美千代、金子てるよし、まんだち幹夫区議、成澤区長、小林れい子、こうだ久美子区議、福手ゆう子都政対策委員長、石沢のりゆき青年学生部長 (19.11.5)

共産党	・自民	公明	市民	みらい	創	永久	子育てネット
○	×	×	×	○	×	×	×

本会議での各会派の態度 ○=賛成 ×=反対

### 総務区民委員会 可否同数に

### 区議会でも請願可決に、あと一歩!

## 「消費税10%増税の中止を」

6月定例議会から「継続審議」となっていた「消費税10%増税の中止を求める請願」は9月26日、総務区民委員会で4対4の可否同数となり、委員長（自民）が「不採択」と決定しました。共産党、市民、みらい、永久は「採択」を主張しました。

### 消費税をなくす文京の会

しかし、「大企業や富裕層等、優遇する税率ということに根拠がない」（自民）、「消費税10%の引上げについては、立憲民主党としては凍結ということですが、会派としては賛成」（創）などと「不採択」。苦しい弁明です。

共産党	自民	公明	市民	みらい	創	永久
○	×	×	○	○	×	○

請願に対する総務区民委員会での態度 ○=採択 ×=不採択

## 「日米地位協定の見直し、米軍の騒音や事件への不安とりのぞけ」

「『米軍基地負担に関する提言』の実現を求める請願」も、4対4の可否同数により、委員長（自民）が「不採択」と決定。

### 文京9条の会連絡会

共産党は、「全国知事会が全会一致で提言を採択して国に改善を求めている。これは非常に意義のあることであり、大いに尊重すべきもの」と主張し、市民、みらい、創も「採択」を主張。一方、「知事会でやっている研究会もしていない文京区議会で、全くそのままコピーして請願するのはどうなのか」（自民）、「全国知事会の提言で、働きかけは既になされている」（公明）、「軽々に決められる問題でもない」（永久）などと「不採択」でした。

共産党	自民	公明	市民	みらい	創	永久
○	×	×	○	○	○	×

請願に対する総務区民委員会での態度 ○=採択 ×=不採択

## 「学校給食無償化」の要求 2⇒4 会派へ広がる!

憲法に「義務教育はこれを無償とする」とあるものの、「学校給食」の無償化はいまだ実現していません。文京区では公立の給食費は小学4年生で年間約5万円、中学生では約6万2千円です。区は、生活保護や就学援助等の利用で小学生の8.31%、中学生の22.4%が無料化されていることをもって「一定程度の負担軽減をしている」とし、無償化に背を向けています。しかし、葛飾区、北区、世田谷区で無償化の流れが進み、文京区でも党区議団が2月議会で「無償化」条例案を2会派で共同提案。今議会において無償化の主張は4会派に広がりました。

区政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい



いたくら美千代 区議会議員



まんだち幹夫 区議会議員



こうだ久美子 区議会議員



関川けさ子 区議会議員



金子てるよし 区議会議員



小林れい子 区議会議員

## 区議会での 一致点の共同 広がる



今旬の

# 区議会トピックス

## 台風19号 神田川の調節池 貯水量83%に

### 11避難所 328人が避難

区は、10月11日(金)午後3時に臨時水害対策本部を設置し、12日午前10時、避難所を11か所で開設し、午後1時に「高齢者、障がい者、乳幼児等とその支援者は避難を開始」の警戒レベル3を発令しました。

人的被害や浸水はないものの倒木13件、信号破損3か所(13日6時まで修復)、水漏れ・雨水侵入は18施設と学校11校に及びました。



13日午前7時過ぎに撮影 弥生2丁目付近

区は情報をHPやSNS等、ネットで発信しましたが、区民からは「翌朝になってから避難所開設を知った」との声が聞かれました。警戒レベルや避難所開設について区民が把握できたのか、検証が必要です。

## 岩井臨海学校「大幅縮小」教室に格差持ちこむ異常！児童から「みんなで岩井に行きたい」の声

区は東京五輪によるバス不足と南房総市・岩井での宿泊施設確保の困難をあげ、岩井臨海学校は廃止し、代替案として協定自治体で開催する自然体験教室の検討をしてきました。

党区議団は議会に寄せられた児童・保護者からの継続を求める声を紹介し、全ての子どもに等しく自然体験教室を保障する立場から、岩井臨海学校の継続を要求してきました。

11月5日の区教育委員会で、区側は来年度は福山、石岡、魚沼、盛岡、津和野、上天草での自然体験教室(イルカウォッチング、キャンプ、農・漁業体験等)と岩井臨海学校(民間事業者へ委託)を用意、希望者ごとに参加するスタイルで「新幹線や飛行機利用となる地域は、補助も行うが保護者負担が高くなる…ご理解を」と説明しました。教育に経済的格差を平然と持ち込むもので到底認められません。



## 育成室委託料未払い

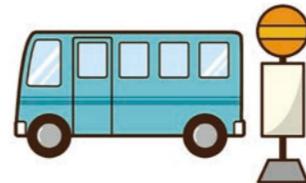
### さらなる原因究明・検証を求める

5か所の区立育成室運営を受託する日本保育サービスへの2018年度分の委託料1億4200万円余を区が未払いにし、国・都の補助金2800万円が交付されなかったことが判明し区長は謝罪、減給処分等が行われました。

区は予算の執行状況確認が徹底されていなかったことが原因といいますが、育成室の他、放課後に児童が過ごす居場所事業なども始まり、事業量が増え続ける中、担当部署の人員は2014年以降、7名で変わっていないことが判明。組織体制についての検証が必要です。

## 湯島・本郷ルートに続き、B-ぐるの延伸を

現在、「千駄木・駒込ルート」と「目白台・小日向ルート」を走っているB-ぐる。区民のみなさんの要求が実現し、「湯島・本郷ルート」が2021年を目途に開通します。しかし、



いまだ残る交通不便地域の解消のため、党区議団は「大塚・千石・白山ルート」の新設や15分間隔の運行、逆回りなど、高齢化社会に応じた交通政策を持つよう、要求しています。

区は、10月の決算委員会で、「デマンドバス(\*電話で呼び出し安価で乗れる乗合タクシー)」の可能性を表明しましたが、党区議団は引き続きB-ぐるの延伸を求めています。

## 受動喫煙防止の取り組み、区内全域へ

文京区は区内全域での歩行喫煙・吸殻ポイ捨てを条例で禁止しています。

国の健康増進法や東京都受動喫煙防止条例などにより、喫煙による迷惑行為の防止を一層推進するために、春日・後樂園・水道橋等の駅周辺の重点地域指定を廃止し、区内全域で取り組む条例改正を予定しています。



礒川公園の喫煙所

現在、区指定喫煙所の礒川公園・お茶の水公園・切通公園は、来年度までに廃止予定ですが、シビックホール脇についても撤去するよう求めています。

## 「補聴器購入助成」来年度実現へ

補聴器購入の公費助成について、党区議団は2009年から要求しており、9月議会では、新婦人文京支部から「補聴器購入助成」についての請願が出されました。75歳以上になると7割の人が難聴になるといわれており、党区議団は早くから実施している江東区の例をあげ、公費助成はどうしても必要と主張しました。また、特定健診の項目に聴力検査を入れるよう要望しました。

これに対して区は、一定の所得制限を設け、来年度実施に向け検討を進めていくと答弁。他会派は、区が検討していることを理由に自民、公明、市民が反対、創は賛成しました。一日も早い実現と、対象者拡充に向けて頑張ります。